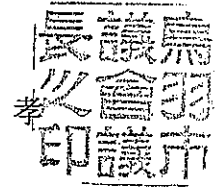




鳥 議 第 3 2 5 号
令 和 7 年 9 月 2 4 日

鳥羽市長 小 竹 篤 様

鳥羽市議会議長 河 村



予算決算常任委員長 木 下 順



令和8年度予算編成に対する提言書

去る9月会議において、令和6年度鳥羽市一般会計及び各特別会計並びに企業会計の決算審査を行いました。

例年と同じく4日間をかけて決算審査するとともに、議員間討議を実施したところ各委員からの提案、意見は55項目に及びました。

この55項目の意見等から予算決算常任委員長報告においても述べたとおり、各課の取り組みについて、今後においても市長をはじめ、職員の更なる努力に期待するところであります。

そこで、様々な分野における意見の中から、市が目指すべき姿を実現させるための事業の更なる進展を願い、市議会として下記の2点について提言するとともに、令和8年1月末までに、市長部局よりこれらの提言に対し文書での回答を求めます。

記

- 1、住民ニーズも多様化する中、適切な事業運営を図る上で、鳥羽市役所の職員を取り巻く状況の深刻化は看過できるものではない。職員の働きやすい環境づくりを推進し、年次有給休暇の取得率向上を図るとともに、待遇改善を含めた職員定数の見直しが必要である。特に、定期船課職員の人員体制の課題については、人命にも関わることから改善は急務である。早急に対策を講じ、定期航路の安全管理を徹底されたい。
- 2、鳥羽市における人口減少および少子高齢化の進行を踏まえ、健康福祉課の役割は極めて重要である。今後、高齢者の見守り体制の強化および地域のつながりの深化を図るに当たり、関連施策を重層的に組み合わせることで一層の効果が期待されることから、現行事業の精査を行い、その効果が最大限発揮されるよう取組の再構築および推進について検討されたい。